

1.5 参考資料

- (1) 労働災害損失事例調査票（元請会社用、下請会社用）
- (2) 建設現場における労働災害損失に関するアンケート調査票

労働災害損失事例調査票

中小建設業者の安全意識向上に資する労働災害損失の計測手法の開発に係る研究
調査票

【1. 元請会社用】

ご回答にあたって

- ・災害記録簿に記載されている事項は既に記入してありますが、内容をご確認下さい。
- ・回答欄の太枠線内のみならず、網掛けしていない箇所についてご回答下さい。(網掛け部分は結構です。)

| |
|-------|
| 回答者氏名 |
| 会社名 |
| 所属部署 |
| 役職 |
| 電話番号 |

1. 作業所概要

1-1. 事故の発生した作業所の概要についてご回答下さい。

| 項目 | 回答欄 | 備考 |
|----------------------|---|--|
| ①工事名称 | | |
| ②工事場所 | | |
| ③発注者 | | |
| ④工期 | 平成 年 月 日 ~ 平成 年 月 日 | |
| ⑤工事種類 | 工期日数 | |
| ⑥最終支払金額(税込み) | 百万円 | |
| ⑦作業所人数 | 元請 百万円 うち前払い金 百万円 下請 人 | 現在施工中の場合は、早急み額をご回答下さい。 作業所における作業員の人数を元請、下請の別にご回答下さい。 下請の人数は平均的な概数で結構です。 作業所における元請会社職員の、所定労働日数をご回答下さい。 作業所における元請会社職員の、1人1ヶ月あたりの平均的な休日出勤日数をご回答下さい。(概数で結構です。 作業所の1日の作業時間と、休憩時間をご回答下さい。 |
| ⑧1ヶ月あたりの所定労働日数 | 月間 時間 | |
| ⑨1人1ヶ月あたりの平均的な休日出勤日数 | 月間 時間 | |
| ⑩作業所作業時間 | 時 分 ~ 時 分 (休憩: 時 分 ~ 時 分) 9 時間 | |
| ⑪1人1日あたりの平均的な残業時間 | 作業時間数(休憩時間を含む) 1日 時間 | |
| ⑫従業員平均月額賃金 | 月額 円 | |
| ⑬支払保険料 | 1) 労災保険料 概算/確定保険料 円 確定 a) 概算/確定保険料 b) 返還額(確定保険料と確定予定保険料との差額) | 法定の労災保険料について、以下にご回答下さい。 概算保険料は、工事開始時に支払った法定の労災保険料の額(掛け金)をご回答下さい。 確定保険料は、工事終了後、精算して申告した労災保険料の額をご回答下さい。 所轄労働局からの通知により改定確定保険料が決定している場合で、確定保険料に対する返還があれば、その額をご回答下さい。 |

| | |
|---------------|--|
| 2) 損害保険料(掛け金) | 貴社が任意で加入している損害保険があれば、以下の保険料額(掛け金)についてご回答下さい。 |
| ①法定外補償保険 | 円 |
| ②使用者賠償責任保険 | 円 |
| ③工事保険 | 円 |
| ④第三者賠償保険 | 円 |

1-2. 貴社の概要についてご回答下さい。

| | | |
|-------|-----|-------------------|
| 項目 | 回答欄 | 備考 |
| ①資本金 | 百万円 | 貴社の資本金額をご回答下さい。 |
| ②従業員数 | 人 | 貴社全体の従業員数をご回答下さい。 |

2. 災害状況

2-1. 災害状況についてご回答下さい。

| | | |
|-------|--------------|------------------------|
| 項目 | 回答欄 | 備考 |
| ①発生日時 | 平成 年 月 日 時 分 | |
| ②被災者数 | 人 | 災害により死傷した方の総人数をご回答下さい。 |

2-2. 被災者、被災状況についてご回答下さい。

| | | | | | |
|---------------|------------------|------------------|------|-----|---|
| 項目 | 被災者1 | | 被災者2 | | 備考 |
| ①所属会社 | 1.元請会社 2.下請会社(次) | 1.元請会社 2.下請会社(次) | | | 該当する番号を○で囲んで下さい。下請会社の場合は、次級までご回答下さい。 |
| ②生年月日 | 西暦 年 月 日 | 西暦 年 月 日 | | | |
| ③年齢(被災時) | 才 | 才 | | | |
| ④経歴年数(被災時) | 年 | 年 | | | |
| ⑤職種 | | | | | |
| ⑥傷名及び程度 | | | | | |
| ⑦家族構成 | 配偶 | | | | 死亡事故の場合、被災者のご家族の方の続柄と、その年齢をご回答下さい。 |
| | 年齢 | 40才 | 17才 | 14才 | |
| ⑧職階等級 | 級 | | | | 今回の被災による職階等級が確定している場合は、その等級をご回答下さい。 |
| ⑨休業日数 | 日 | | | | まだ確定していない場合は、見込み日数で結構です。 |
| ⑩入院日数 | 日 | | | | まだ確定していない場合は、見込み日数で結構です。 |
| ⑪通院日数 | 日 | | | | 病院等で診療を受けた日数をご回答下さい。まだ確定していない場合は、見込み日数で結構です。 |
| ⑫1日あたりの通院時間 | 時間 | | | | 被災者が所定労働時間内に通院している場合の、通院のために現場業務を離れる1日あたりの平均的な時間数をご回答下さい。(概数で結構です。) |
| ⑬平均賃金(日額 被災時) | 円 | 日額 | 円 | | 被災者本人の労働基準法上の平均賃金をご回答下さい。わからなければ最近の平均的な賃金を、日額でご回答下さい。 |

3. 災害による影響

3-1. 災害による影響についてご回答下さい。

| 項目 | 回答欄 | 備考 | | |
|----------------------|-----|---|-----|-----|
| ①工事の中断日数 | 日 | 災害により工事が中断した場合、その日数をご回答下さい。 | | |
| ②工期の遅延日数 | 日 | 災害により工期が遅延した場合、その日数をご回答下さい。 現在施工中の場合は、最終的に予定される遅延日数を、あくまでご回答下さい。 | | |
| ③中断・遅延による削減人工数 | | | | |
| a) 工期が遅延しなかった(しない)場合 | 元請 | 工期が遅延しなかった(しない)場合、遅延を生じさせないために、他の従業員による残業や休日出勤など、通常よりも人工数が増加した場合は、その増加分を元請、下請の別にご回答下さい。(概数で結構です。) | | |
| | 下請 | | | |
| b) 工期が遅延した(する)場合 | 元請 | 工期が遅延した(する)場合、遅延期間中に生じた(生じる)人工数を元請、下請の別にご回答下さい。(概数で結構です。) 現在施工中の場合は、見込みで結構です。 | | |
| | 下請 | | | |
| ④指名停止 | 人、日 | 災害の発生により、元請会社が本工事発注者などから指名停止を受けた場合、以下にご回答下さい。 | | |
| ⑤工期遅延に伴う変動金 | (1) | (2) | (3) | (4) |
| | 日 | 日 | 日 | 日 |
| | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 百万円 |
| | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 百万円 |
| ⑥その他 | 万円 | | | |

3-2. 工事関係者が、災害対応等に要した時間についてご回答下さい。(概数で結構です)

工事関係者には、作業所内の元請、下請従業員のほか、労働安全担当者など、元請会社、下請会社の店内関係者も含みます。

これら工事関係者が、災害対応等のため本来の業務を離れて費やした時間数(無作業時間数)を、元請、下請の別にご回答下さい。対応せられた者が複数ある場合は、その合計時間数をご回答下さい。

| 項目 | 元請 | 下請 | 備考 |
|-----------------|----|----|---|
| ①搬運、連絡、介添 | 時間 | 時間 | →「下請」欄には、対応型にあつた全ての下請会社の従業員を対象としてご回答下さい。 |
| ②作業手待ち | 時間 | 時間 | 被災者の救護(応急処置、病院への移送等)、被災者の家族の呼び寄せ、被災者の介添えに要した時間 |
| ③調査、記録 | 時間 | 時間 | 機材・器具の点検による作業手待ちの時間 スケジュールの変更や取付の調整の間の、作業手待ちの時間 |
| ④現場の整理、復旧 | 時間 | 時間 | 災害の原因・状況の調査、災害記録の作成に要した時間 |
| ⑤見舞い、行き違い | 時間 | 時間 | 災害発生直後の整理、復旧に要した時間 |
| ⑥会葬、吃擾 | 時間 | 時間 | 被災者への見舞いや、被災者の日常生活の補助・付き添い(労災など法的補償の対象とならないもの)のために要した時間 |
| ⑦安全教育等 | 時間 | 時間 | 被災者が充てた場合における、会葬、吃擾に要した時間 |
| ⑧検閲訓練等 | 時間 | 時間 | 災害発生後、災害再発防止活動や安全教育を実施した場合、これに要した時間 |
| ⑨免所立会い | 時間 | 時間 | 災害発生後、被災者に代わる新しい人員を採用した場合、その新規入職教育や訓練に要した時間 |
| ⑩スケジュール変更、取取り調整 | 時間 | 時間 | 労働基準監督署や労働局等による現場検証、事情聴取への立会いに要した時間 |
| ⑪その他() | 時間 | 時間 | スケジュールの変更や取取りの調整に要した時間 |
| ⑫その他() | 時間 | 時間 | |

4. 災害に伴う損失

4-1. 会社規定(または決定)に基づく補償費等についてご回答下さい。

以下の補償費等につき、会社の規定または決定に基づいて、貴社が、被災者やその遺族に対して支払った金額があればご回答下さい。(限額で結構です。また被災者が複数いる場合は、それらの合計額をご回答下さい。)

ここで「会社規定(または決定)」に基づく補償費等には、任意加入の法定外補償保険(労災保険の上積み補償分)による保険金を含みますが、労災保険法による補償(労災給付金)は除きます。

補償費の出処の別(任意加入の法定外補償保険による保険金、保険金以外での会社負担)に、ご回答下さい。

保険金については、項目別の金額がわかれば、総額を「欄」にご回答下さい。

| 項目 | 回答欄 | | 備考 |
|--------------|---------|-------------|---|
| | 補償費等の出処 | 保険金以外での会社負担 | |
| ①休業補償費 | 万円 | 万円 | 被災者が業務上負傷しまたは疾病にかかった場合に、支払った休業費用(労働基準法上の休業補償を含む) |
| ②休業補償費 | 万円 | 万円 | 被災者が業務上負傷しまたは疾病にかかり、3日以下休業した場合には、支払った補償費(労働基準法上の休業補償を含む) |
| ③附加休業補償費 | 万円 | 万円 | 労災保険の法定補償分である、平均賃金の80%(休業補償60%+休業別支給金20%)を超えて、会社(専業主)が支払った附加補償分 |
| ④障害補償費 | 万円 | 万円 | 被災者が業務上負傷しまたは疾病にかかり、治った場合に、その身に障害が残ると時に支払った補償費(労働基準法上の障害補償を含む) |
| ⑤遺族補償費 | 万円 | 万円 | 被災者が業務上死亡した場合には、遺族に支払った補償費(労働基準法上の遺族補償を含む) |
| ⑥葬祭料 | 万円 | 万円 | 被災者が業務上死亡した場合には、遺族に支払った葬祭料(労働基準法上の葬祭料を含む) |
| ⑦弔慰金 | 万円 | 万円 | 被災者が業務上死亡した場合には、遺族に支払った弔慰金(葬儀、献花料など) |
| ⑧移送費 | 万円 | 万円 | 被災者またはその家族の病院への搬送などのために、支払った金額 |
| ⑨入院中経費 | 万円 | 万円 | 被災者の入院中の経費として、支払った金額 |
| ⑩療養見舞金 | 万円 | 万円 | 見舞金として、支払った金額 |
| ⑪退職金割増額 | 万円 | 万円 | 被災者の業務上の死亡または傷病に起因して退職金を割増した場合は、その割増額 |
| ⑫賠償金の弁済済金額 | 万円 | 万円 | 会社から被災者に貸し付けた賠償金を、被災者の業務上の死傷等を理由に漏免した場合、その金額 |
| ⑬給付制限による会社負担 | 万円 | 万円 | 上記のほか、被災者が労災保険法等の規定による給付制限を受けたために、支払った補償費 |
| ⑭その他() | 万円 | 万円 | |
| 計 | 万円 | 万円 | |

4-2. 新設調償費用についてご回答下さい。

以下の項目に要した負担があれば、その総額や、会社負担分の費用の出処の別(任意加入の損害保険などによる保険金、保険金以外での会社負担)などを、ご回答下さい。また被災者が複数いる場合は、それらの合計額をご回答下さい。

| 項目 | 回答欄 | | 備考 |
|---------------------|------|-------------|--|
| | 1)総額 | 2)金額(会社負担分) | |
| ①地震損害賠償額(逸失利益、慰労料等) | 万円 | 万円 | 民事訴訟により被災者等に損害賠償がされた場合、賠償額の総額(元請、下請が分担した場合はその合計額)をご回答下さい。 |
| ②賠償金、示談金 | 万円 | 万円 | 賠償額のうち、労災給付金、上記4-1の会社規定に基づく補償費(労働基準法上の災害補償を含む)のほかは、貴社が負担した金額があれば、費用の出処の別(使用者賠償責任保険などによる保険金、保険金以外での会社負担)に、ご回答下さい。 |
| ③付随費用 | 万円 | 万円 | 被災者に和解金や示談金が支払われた場合、その総額(元請、下請が分担した場合はその合計額)をご回答下さい。 |
| ④その他() | 万円 | 万円 | 和解金、示談金総額のうち、労災給付金、上記4-1の会社規定に基づく補償費(労働基準法上の災害補償を含む)のほかは、貴社が負担した金額があれば、費用の出処の別(使用者賠償責任保険などによる保険金、保険金以外での会社負担)に、ご回答下さい。 |
| | 万円 | 万円 | 弁護士報酬や専門スタッフへの費用など、訴訟手続きや和解交渉のために、貴社が負担した金額があれば、費用の出処の別(使用者賠償責任保険などによる保険金、保険金以外での会社負担)に、ご回答下さい。 |
| | 万円 | 万円 | 上記のほか、貴社が会社が規定外で支払った補償費等があればご回答下さい。 |

4-3. 建物等の修繕等に要した費用についてご回答下さい。

以下の項目の修繕等のために、貴社が負担した費用があれば、費用の出処の別(工事保険などによる保険金、保険金以外での会社負担)に、ご回答下さい。
 ・保険金については、項目別の金額がわからなければ、総額を「計」欄にご回答下さい。

| 項目 | 回答額 | | 備考 |
|--------------------------|--------------|-------------|--|
| | 工事保険などによる保険金 | 保険金以外での会社負担 | |
| ①建物、付属設備、施工途中の建造物、仮設建造物等 | 万円 | 万円 | 災害の発生により、汚損、破損、または消失した建物、付属設備、施工途中の建造物、仮設建造物等の修繕に要した金額 |
| ②機械、器具、工具、付属品等 | 万円 | 万円 | 災害の発生により、汚損、破損、または消失した機械、器具、工具、付属品等の修繕に要した金額 |
| ③資材類 | 万円 | 万円 | 災害の発生により、汚損、破損、または消失した資材等の修繕に要した金額 |
| ④リース経費 | 万円 | 万円 | 災害の発生により、リースレンタル品の返却が遅れ、延滞料を支払った場合、その金額 |
| ⑤その他() | 万円 | 万円 | |
| 計 | 万円 | 万円 | |

4-4. その他、貴社が負担した費用等があれば、ご回答下さい。

| 項目 | 回答額 | 備考 |
|---------|-----|--|
| ①通信交通費 | 万円 | 災害の発生により、各方面の連絡のために要した通信費、交通費、旅費 |
| ②官庁関係費 | 万円 | 災害の発生により、警官等との折衝(提出書類の作成、協議など)に要した費用 |
| ③地域対策費 | 万円 | 災害の発生により、地域住民等との折衝(提出書類の作成、協議など)に要した費用 |
| ④新規採用費 | 万円 | 被災者に代わる、新しい人員を募集・採用するに要した費用 |
| ⑤安全対策費 | 万円 | 災害の発生後、安全担当者など作業所への常駐職員を要した場合の人員費 |
| ⑥その他() | 万円 | 上記のほか、災害の発生により生じた費用項目とその金額をご回答下さい。 |
| ⑦その他() | 万円 | 上記のほか、災害の発生により生じた費用項目とその金額をご回答下さい。 |

5. 災害による影響

・事業の発生による影響について、以下の設問にお答え下さい。

| 設問 | 回答欄(枠内に○を記入して下さい) | | | | | | |
|---|--|--------------------------|-------|--------------------------|---------|-------|--------------------------|
| Q1. 災害をきっかけとして、優秀な職人を集めにくくなったと思いませんか。あてはまる方に○を付けて下さい。 | <table border="1"> <tr> <td>そう思う</td> <td>.....</td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <td>そうは思わない</td> <td>.....</td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> </table> | そう思う | | <input type="checkbox"/> | そうは思わない | | <input type="checkbox"/> |
| そう思う | | <input type="checkbox"/> | | | | | |
| そうは思わない | | <input type="checkbox"/> | | | | | |
| Q2. 災害をきっかけとして、職場のモラルや労働意欲が低下したと思いませんか。あてはまる方に○を付けて下さい。 | <table border="1"> <tr> <td>そう思う</td> <td>.....</td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <td>そうは思わない</td> <td>.....</td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> </table> | そう思う | | <input type="checkbox"/> | そうは思わない | | <input type="checkbox"/> |
| そう思う | | <input type="checkbox"/> | | | | | |
| そうは思わない | | <input type="checkbox"/> | | | | | |

中小建設業者の安全意識向上に資する労働災害損失の計測手法の開発に係る研究
調査票

【2. 下請会社用】

ご回答にあたって

・災害記録簿に記載されている事項は既に記入してありますが、内容をご確認下さい。

・回答欄の本枠線内のみ、網掛けをしていない箇所についてご回答下さい。(網掛け部分は転写です。)

| | |
|-------|--|
| 回答者氏名 | |
| 会社名 | |
| 所属部署 | |
| 役職 | |
| 電話番号 | |

1. 作業所、会社概要

1-1. 事故の発生した作業所の概要についてご回答下さい。

| 項目 | 回答欄 | 備考 |
|--------------------|-------------------------|--|
| ①工事名称 | | |
| ②本工事における下請次数 | 1. 1次下請 2. 2次下請 3. 3次下請 | 本工事における貴社の、下請の次数をご回答下さい。 |
| ③損害保険料(掛け金) | | 貴社が任意で加入している損害保険があれば、以下の保険料額(掛け金)についてご回答下さい。 |
| 1)法定外補償保険 | 円 | 貴社が任意で加入している法定外補償保険(労災保険の上積み補償分)の保険料額(掛け金)をご回答下さい。 |
| 2)使用者賠償責任保険 | 円 | 貴社が任意で加入している使用者賠償責任保険の保険料額(掛け金)をご回答下さい。 |
| 3)工事保険 | 円 | 本工事のために、貴社が任意で加入している工事保険の保険料額(掛け金)をご回答下さい。 |
| 4)第三者賠償保険 | 円 | 本工事のために、貴社が任意で加入している第三者賠償保険の保険料額(掛け金)をご回答下さい。 |
| ④1日あたりの所定労働時間 | 時間 | 本工事における貴社の、所定労働時間をご回答下さい。 |
| ⑤1人・1日あたりの平均的な作業時間 | 時間 | 本工事における貴社の従業員1人・1日あたりの平均的な作業時間をご回答下さい。概数で結構です。 |

1-2. 貴社の概要についてご回答下さい。

| 項目 | 回答欄 | 備考 |
|-------|-----|-------------------|
| ①資本金 | 百万円 | 貴社の資本金額をご回答下さい。 |
| ②従業員数 | 人 | 貴社全体の従業員数をご回答下さい。 |

2. 災害による影響

2-1. 災害による影響についてご回答下さい。

| 項目 | 回答欄 | | | | 備考 |
|-------------------------|-----|-----|-----|-----|--|
| | (1) | (2) | (3) | (4) | |
| ①指名停止 | | | | | 災害の発生により、貴社が本工事発注者などから指名停止を受けた場合、以下についてご回答下さい。 (1)～(4)に、貴社が指名停止を受けた機関等(本工事発注者など)の名称をご回答下さい。 指名停止期間をご回答下さい。 指名停止を受けた機関等から、貴社が通常年度受注する額をご回答下さい。 最近数年の平均など、概算で結構です。 指名停止を受けた機関等から受注する予定であった工事を失注した場合の予定損失金額など 工期遅延に伴い、貴社が免状者等に対して支払った違約金等があれば、その金額をご回答下さい。 上記のほか、災害によって貴社が受けた影響があればご回答下さい。 |
| 1)指名停止を受けた機関等 | 日 | 日 | 日 | 日 | |
| 2)指名停止期間 | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 百万円 | |
| 3)指名停止を受けた機関等からの通常年度受注額 | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 百万円 | |
| 4)その他指名停止による影響 | | | | | |
| ②工期遅延に伴う違約金 | | | | | 万円 |
| ③その他 | | | | | |

3. 災害に伴う損失

3-1. 会社規定(または決定)に基づく補償費等についてご回答下さい。

以下の補償費等につき、会社の規定または決定に基づいて、貴社が、被災者やその遺族に対して支払った金額があればご回答下さい。(欄数で結構です。また被災者が複数いる場合は、それぞれの合計額をご回答下さい。)

ここでの「会社規定(または決定)」に基づく補償費等には、任意加入の法定外補償保険(労災保険の上積み補償分)による保険金は含まれますが、労災保険法による補償(労災給付金)は除きます。

補償費の出現の別(任意加入の法定外補償保険による保険金、保険金以外での会社負担)に、ご回答下さい。

保険金については、項目別の金額がわからなければ、総額を「計」欄にご回答下さい。

| 項目 | 回答欄 | | | 備考 |
|--------------|---------|--------------------|-------------|--|
| | 補償費等の出处 | 任意加入の法定外補償保険による保険金 | 保険金以外での会社負担 | |
| ①産業補償費 | 万円 | 万円 | 万円 | 被災者が業務上負傷しまたは疾病にかかった場合に、支払った産業費用(労働基準法上の産業補償を含む) |
| ②休業補償費 | 万円 | 万円 | 万円 | 被災者が業務上負傷しまたは疾病にかかり、3日以下休業した場合に、支払った補償費(労働基準法上の休業補償を含む) |
| ③付加休業補償費 | 万円 | 万円 | 万円 | 労災保険の法定補償分である、平均賃金の80%(休業補償60%+休業特別支給金20%)を用いて、支払った付加補償分 |
| ④障害補償費 | 万円 | 万円 | 万円 | 被災者が業務上負傷しまたは疾病にかかり、治つた場合に、その身体に障害が存するときに支払った補償費(労働基準法上の障害補償を含む) |
| ⑤遺族補償費 | 万円 | 万円 | 万円 | 被災者が業務上死亡した場合に、遺族に支払った補償費(労働基準法上の遺族補償を含む) |
| ⑥葬料 | 万円 | 万円 | 万円 | 被災者が業務上死亡した場合に、遺族に支払った葬料(労働基準法上の葬料を含む) |
| ⑦甲斐金 | 万円 | 万円 | 万円 | 被災者が業務上死亡した場合に、遺族に支払った甲斐金(香典、献花料など) |
| ⑧移送費 | 万円 | 万円 | 万円 | 被災者またはその家族の病院への搬送のために、支払った金額 |
| ⑨入院中雑費 | 万円 | 万円 | 万円 | 被災者の入院中の雑費として、支払った金額 |
| ⑩療養費 | 万円 | 万円 | 万円 | 見舞金として、支払った金額 |
| ⑪退職金増額 | 万円 | 万円 | 万円 | 被災者の業務上の死亡または障害に基づく退職金を増額した場合、その増額額 |
| ⑫賠償金の労済減免額 | 万円 | 万円 | 万円 | 会社から被災者に貸し付けた賠償金を、被災者の業務上の死傷等を理由に減免した場合、その金額 |
| ⑬給付制限による会社負担 | 万円 | 万円 | 万円 | 上記のほか、被災者が労災保険法等の規定による給付制限を受けたために、支払った補償費 |
| ⑭その他() | 万円 | 万円 | 万円 | |
| 計 | 万円 | 万円 | 万円 | |

3-2. 訴訟関係費用についてご回答下さい。

以下の項目に要した負担があれば、貴社負担分の費用の出処の別(任意加入の損害保険などによる保険金、保険金以外での会社負担)に、ご回答下さい。また被災者が複数いる場合は、それらの合計額をご回答下さい。

| 項目 | 回答欄 | 備考 |
|---------------------|-------------------------|--|
| ①民事損害賠償額(過失割合、慰謝料等) | 使用者賠償責任保険などによる保険金 万円 | 民事訴訟により被災者等に損害賠償がされた場合、賠償額総額のうち、上記①-②の会社認定に基く賠償額(労働基準法上の規定を基く法的に、貴社が負担した金額があれば、費用の出処の別(使用者賠償責任保険などによる保険金、保険金以外での会社負担)に、ご回答下さい。 |
| 金額(貴社負担分) | 万円 | |
| ②和解金、示談金 | 使用者賠償責任保険などによる保険金 万円 | 被災者への和解金や示談金が支払われた場合、その総額のうち、上記①-②の会社認定に基く賠償額(労働基準法上の規定を基く法的に、貴社が負担した金額があれば、費用の出処の別(使用者賠償責任保険などによる保険金、保険金以外での会社負担)に、ご回答下さい。 |
| 金額(貴社負担分) | 万円 | |
| ③付随費用 | 使用者賠償責任保険などによる保険金 万円 | 弁護士報酬や専門スタッフへの費用など、訴訟手続きや和解交渉のために、貴社が負担した金額があれば、費用の出処の別(使用者賠償責任保険などによる保険金、保険金以外での会社負担)に、ご回答下さい。 |
| 金額(貴社負担分) | 万円 | |
| ④その他() | 万円 | 上記のほか、貴社が会社の規定外で支払った補償費等があればご回答下さい。 |

3-3. 建物等の修繕に要した費用についてご回答下さい。

以下の項目の修繕のために、貴社が負担した費用があれば、費用の出処の別(工事保険などによる保険金、保険金以外での会社負担)に、ご回答下さい。

・保険金については、項目別の金額がわからなければ、総額(計)欄にご回答下さい。

| 項目 | 回答欄 | | 備考 |
|-------------------------|--------------|-------------|---|
| | 工事保険などによる保険金 | 保険金以外での会社負担 | |
| ①建物、付属設備、施工中の建築物、仮設建築物等 | 万円 | 万円 | 災害の発生により、汚損、破壊、または消失した建物、付属設備、施工中の建築物、仮設建築物等の修繕に要した金額 |
| ②機械、器具、工具、付属品等 | 万円 | 万円 | |
| ③資材類 | 万円 | 万円 | 災害の発生により、汚損、破壊、または消失した機械、器具、工具、付属品等の修繕に要した金額 |
| ④リース経費 | 万円 | 万円 | 災害の発生により、リースレンタル品の返却が遅れ、延滞料を支払った場合、その金額 |
| ⑤その他() | 万円 | 万円 | |
| 計 | 万円 | 万円 | |

3-4. その他、貴社が負担した費用等があれば、ご回答下さい。

| 項目 | 回答欄 | 備考 |
|---------|-----|--|
| ①運搬交通費 | 万円 | 災害の発生により、各方面の連絡のために要した通信費、交通費、旅費 |
| ②代行関係費 | 万円 | 災害の発生により、請負業者との折衝(提出書類の作成、協議など)に要した費用 |
| ③地域対策費 | 万円 | 災害の発生により、地域住民等との折衝(提出書類の作成、協議など)に要した費用 |
| ④新規採用費 | 万円 | 被災者に代わる、新しい人員を募集・採用するのに要した費用 |
| ⑤安全対策費 | 万円 | 災害の発生後、安全担当者など作業所への常駐職員を確保した場合の人員費 |
| ⑥その他() | 万円 | 上記のほか、災害の発生により生じた費用項目とその金額をご回答下さい。 |
| ⑦その他() | 万円 | 上記のほか、災害の発生により生じた費用項目とその金額をご回答下さい。 |

4. 災害による影響

・事故の発生による影響について、以下の設問にお答え下さい。

| 設 問 | | 回答欄(枠内に○、または数字を記入して下さい。) | | | | | | | | | |
|-------|---|------------------------------------|--|--|--|--|--|--|--|--|--|
| | | I | | | | | | | | | |
| Q1. | 災害発生後、被災者に代わる新しい人員を採用しましたか。あてはまる方に○を付けて下さい。 | 採用した 採用しなかった | <table border="1"> <tr><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td></tr> </table> <table border="1"> <tr><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td></tr> </table> | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | |
| Q1-2. | 新たに採用した人員の能力不足により、作業の能率が低下したと思えますか。あてはまる方に○を付けて下さい。 | 低下したと思う 低下したと思わない | <table border="1"> <tr><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td></tr> </table> <table border="1"> <tr><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td></tr> </table> | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | |
| Q1-3. | 能率が低下した期間、割合は、どの程度ですか。(期間は概数、割合は感覚的な値で結構です。) | 能率が低下した期間 能率が低下した割合(0 ~100%) | <table border="1"> <tr><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td></tr> </table> <table border="1"> <tr><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td></tr> </table> | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | |
| Q2. | 災害発生後、被災者は離職に復帰しましたが、あてはまる方に○を付けて下さい。 | 復帰した 復帰していない(しな かった) | <table border="1"> <tr><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td></tr> </table> <table border="1"> <tr><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td></tr> </table> | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | |
| Q2-2. | 被災者が離職に復帰した当初は、作業の能率が低下したと思えますか。あてはまる方に○を付けて下さい。 | 低下したと思う 低下したと思わない | <table border="1"> <tr><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td></tr> </table> <table border="1"> <tr><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td></tr> </table> | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | |
| Q2-3. | 能率が低下した期間、割合は、どの程度ですか。(期間は概数、割合は感覚的な値で結構です。) | 能率が低下した期間 能率が低下した割合(0 ~100%) | <table border="1"> <tr><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td></tr> </table> <table border="1"> <tr><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td></tr> </table> | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | |

建設現場における労働災害損失に関するアンケート調査 — その2. 労働災害による企業の損失の数量化の試み —

調査主体 独立行政法人労働安全衛生総合研究所 主任研究官 高木 元也
早稲田大学理工学術院建築学科 教 授 嘉納 成男

本調査は、建設現場における労働災害に伴う企業の経済的損失の計測手法を構築することを目的として、平成17年度より実施しているものです。

昨年度調査では、労働災害に伴って損失が発生すると考えられる項目、損失額に対するイメージなどが明らかとなりました。引き続き今年度調査では、労働災害が発生したことで、単に被災した人やモノが損害をこうむるだけではなく、企業のイメージ・信用度が低下し、また現場労働者の労働意欲・モラルまで低下してしまうケースを想定して、数値で表すことが困難なこうした影響の大きさについて、敢えて企業の損失と捉えて数値化を試みることにしました。

《 ご記入にあたって 》

- ◎ 本調査票は、昨年度調査にご協力をいただいた建設会社を対象に送付させていただきました。
- ◎ ご記入は、貴社の安全担当責任者の方をお願いします。
- ◎ お答えいただきました内容は統計的に処理いたします。本調査以外の目的に使用することはございません。
- ◎ ご記入いただいた調査票は、お手数ですが同封の返信用封筒に入れて、12月22日(金)までに ご投函をお願いします。
- ◎ ご不明な点がございましたら、下記までお問い合わせ下さい。

お問い合わせ先

独立行政法人労働安全衛生総合研究所
産業安全研究所 人間工学・リスク管理研究グループ 主任研究官 高木元也
TEL:0424-91-4512(代) E-mail:takagi@s.jniosh.go.jp

●貴社の概要等

貴社についてご記入下さい。 ※数値はおよその数でも結構です。

なお、本調査では、個人情報保護に関する法令、ガイドライン、その他の関連法令を遵守し、ご記入いただいた会社名等は、所定の規則に従い適切に取り扱います。

| | | | | | | |
|-----------------|--------|-------|-----------------|-------|-------|-------|
| 貴社名 | | | | | | |
| 本社所在地 (○で囲む) | 1. 北海道 | 2. 東北 | 3. 関東 | 4. 北陸 | 5. 中部 | 6. 近畿 |
| | 7. 中国 | 8. 四国 | 9. 九州・沖縄 | | | |
| 従業員数 | 人 | | 最近3年度の 平均受注高 | 百万円 | | |
| ご記入者名 | | | | | | |
| 所属部署・ 役職 | | | | | | |
| 連絡先 (電話番号) | | | | | | |

以下の設問には、労務安全の専門のお立場から、感覚的に判断してお答え下さい。

※発生した労働災害そのものの内容は、ここでは考慮しないものとします。

※同時に公衆災害は発生しなかったものとします。

※以下の設問で想定したいいくつかの状況は、それぞれ別々に生じたものとして、個別にお考え下さい。

●建設現場における労働災害に伴う企業のイメージ・信用度の低下について

問1 貴社の建設現場で労働災害が発生して、次のような状況となった場合、企業のイメージ・信用度が低下することが考えられます。それによる「受注活動への影響」と「人材確保への影響」は、それぞれの程度の大きさになると思いますか。枠内の該当する文字を○で囲んで下さい。

| | 受注活動への影響 | 人材確保への影響 |
|------------------------------------|----------------|----------------|
| ① 労働災害発生がマスメディアで報道され、企業名が公表された場合 | 大 - 中 - 小 - なし | 大 - 中 - 小 - なし |
| ② 同業他社や近隣による悪い噂・風評・デマが流布した場合 | 大 - 中 - 小 - なし | 大 - 中 - 小 - なし |
| ③ 労働災害により指名停止・営業停止措置を受けたことが報道された場合 | 大 - 中 - 小 - なし | 大 - 中 - 小 - なし |
| ④ 労働災害の刑事責任を問われて送検されたことが報道された場合 | 大 - 中 - 小 - なし | 大 - 中 - 小 - なし |

問2 問1①で何らかの影響があると答えた方にお聞きします。

貴社で労働災害が発生して、それがマスメディアで報道され、企業名が公表されたとします。この時、貴社のイメージ・信用度の低下による「受注活動への影響」と「人材確保への影響」を、敢えて企業の損失として金額換算するとしたら、合わせて貴社の年間受注高(平均的な1年間の総受注額 以下同じ)の何%程度に相当すると思いますか。以下のA~Cのケースごとにお答え下さい。

①-A テレビや新聞などで、全国に向けて大々的に報道され、顧客、関係者(同業他社、行政)、社員家族、地域住民、一般市民、全国の国民の知るところとなった。

⇒ 損失は、年間受注高の %程度に相当する

①-B テレビのローカルニュースや新聞の地方版、地方紙などで、地域に向けて報道され、顧客、関係者(同業他社、行政)、社員家族、地域住民の知るところとなった。

⇒ 損失は、年間受注高の %程度に相当する

①-C 業界紙・専門紙のみで報道され、顧客、関係者(同業他社、行政)の知るところとなった。

⇒ 損失は、年間受注高の %程度に相当する

問3 問1②～④で何らかの影響があると答えた方にお聞きます。

貴社で労働災害が発生して、実際に②～④のような状況になったとします。この時、貴社のイメージ・信用度の低下による「受注活動への影響」と「人材確保への影響」を、敢えて企業の損失として金額換算するとしたら、合わせて貴社の年間受注高の何%程度に相当すると思いますか。影響があると答えた項目についてお答えください。

② 同業他社や近隣による、あるいはインターネットなどを通じた、悪い噂・風評・デマが流布した。

⇨ 損失は、年間受注高の %程度に相当する

③ 発注者や行政から指名停止・営業停止措置を受け、それが官報や記者発表等を通して報じられた。

⇨ 損失は、年間受注高の %程度に相当する
※ここでは、受注を予定していた工事の失注損失は除きます。

④ 刑事責任を問われて送検され、それが記者発表等を通して報じられた。

⇨ 損失は、年間受注高の %程度に相当する

問4 労働災害が発生して、問2～問3に挙げたような状況以外の要因によって、企業のイメージ・信用度が低下し、受注活動に支障をきたしたり、優秀・有望な人材の募集が困難になったと思われる事例をご存知であれば、内容を具体的にご記入下さい。

.....

.....

.....

.....

.....

●建設現場における労働災害に伴う現場労働者の労働意欲・モラルの低下について

死亡災害や被災者に障がいが残るような労働災害、あるいは重大災害などが発生した場合、一時的には、災害に関与した者の精神的な負担、企業の安全対策に対する労働者の不満・不安、優秀・有望な人材の流出などが発生し、このために現場にやる気のなさが蔓延したり、現場の雰囲気荒廃するといったケースが考えられます。

問5 被害の大きい労働災害が発生した場合、一時的には、現場労働者の作業能率が低下したり、手戻りやうっかりミスが増えたりすることがあると思いますか。該当する番号を○で囲んで下さい。あると思う場合、それによる損失を金額換算するとしたら、その工事の請負金額の何%程度に相当すると思いますか。

| | |
|----------|--------------|
| 1. あると思う | 2. ほとんどないと思う |
|----------|--------------|

⇨ 損失は、工事請負金額の %程度に相当する

問6 被害の大きい労働災害が発生した場合、一時的には、現場における生産品質が低下することがあると思いますか。該当する番号を○で囲んで下さい。

あると思う場合、それによる損失を金額換算するとしたら、その工事の請負金額の何%程度に相当すると思いますか。

| | |
|----------|--------------|
| 1. あると思う | 2. ほとんどないと思う |
|----------|--------------|

→ 損失は、工事請負金額の %程度に相当する

問7 問5～問6は、被害の大きい労働災害を想定してお考えいただきましたが、これら以外の軽微な労働災害によっても、現場労働者の労働意欲・モラルが低下して、生産性や生産品質が低下することはあると思いますか。該当する番号を1つ選んで○で囲んで下さい。

| |
|---|
| <p>1. 事故の規模・内容に関係なくあると思う</p> <p>2. 軽微な労働災害によっても、ある程度はあると思う</p> <p>3. 軽微な労働災害ではほとんどないと思う</p> <p>4. その他(具体的に: _____)</p> |
|---|

問8 問7で 1. 又は 2. を選んだ方にお聞きします。

軽微な労働災害が発生して、現場労働者の労働意欲・モラルが低下し、生産性や生産品質が低下したと思われる事例をご存知であれば、内容を具体的にご記入下さい。

.....

.....

.....

.....

.....

.....

最後に、ご意見などがありましたらご自由にご記入下さい。

.....

.....

.....

.....

.....

.....

ご質問は以上です。ご協力ありがとうございました。

参考文献

- 1) 厚生労働省大臣官房統計情報部：社会医療診療行為別調査，2005
- 2) 厚生労働省大臣官房統計情報部：賃金構造基本統計調査，2005
- 3) 国土交通省大臣官房技術調査課：土木請負工事工事費積算基準，2005
- 4) 国土交通省大臣官房官庁営繕部：公共建築工事共通費積算基準，2003
- 5) 財務省財務総合政策研究所調査統計部：法人企業統計調査，2001-2005
- 6) 国土交通省総合政策局建設振興課：建設業構造基本調査，2005
- 7) 中央労働災害防止協会：安全対策の費用対効果－企業の安全対策費の現状とその効果の分析－，2000
- 8) 栗山浩一：公共事業と環境の価値，1997

Ⅱ－２．社会レベルから見た社会的損失に関する現状分析

分担研究者 嘉納成男 早稲田大学

2.1 現場作業者アンケート調査

2.1.1 調査目的

本研究では、現場作業者の意識をアンケート調査し、現場労働の現状や労働災害の発生が、優秀な人材の確保を難しくするとともに、工事現場におけるモラルが低下する原因となることを明らかにする。

アンケート調査内容は、以下の項目について実施した。

- ①就業特性
- ②労働環境
- ③労働災害防止活動の実施状況

2.1.2 調査期間

2006年8月下旬～11月上旬

2.1.3 調査方法

本調査では「建設産業における安全と就業に関するアンケート」と題し、建設現場の元請工事業者の所長、もしくは副所長にアンケート調査票の配布を依頼、現場作業者を対象にアンケート調査を行った。アンケート調査は主要建設会社5社より紹介された計10現場（各2現場）で行い、約2週間をめぐり回収した。（表1・1）

回収については、後日訪問、もしくは郵送していただき実施した。2006年11月上旬までに322部（回収率100%）が回収され、本調査ではこのサンプルについての分析を行った。

表 1-1 アンケート用紙の配布と回収

| 企業名 | 現場名称 | 配布日 | 回収日 | 配布部数 | 回収部数 |
|-----|--------|-------|-------|------|------|
| A社 | A-1 工事 | 8月24日 | 9月11日 | 30部 | 30部 |
| A社 | A-2 工事 | 8月29日 | 9月6日 | 30部 | 30部 |
| B社 | B-1 工事 | 8月25日 | 9月1日 | 50部 | 50部 |
| B社 | B-2 工事 | 9月1日 | 9月11日 | 30部 | 30部 |
| C社 | C-1 工事 | 8月28日 | 9月4日 | 31部 | 31部 |
| C社 | C-2 工事 | 9月6日 | 9月25日 | 31部 | 31部 |
| D社 | D-1 工事 | 9月5日 | 9月20日 | 30部 | 30部 |
| D社 | D-2 工事 | 9月20日 | 9月21日 | 30部 | 30部 |
| E社 | E-1 工事 | 9月20日 | 9月21日 | 30部 | 30部 |
| E社 | E-2 工事 | 9月25日 | 11月1日 | 30部 | 30部 |

2.1.4 調査項目

質問は以下の4点について行った。

1) プロフィール (5項目)

- ① 年齢
- ② 性別
- ③ 現在の職種 (主要なもの1つ)
- ④ 現在の職種に就く前の仕事の有無
「ある」場合はその内容 (複数回答可)
- ⑤ 建設業にたずさわっている年数

2) 就業特性 (22項目)

- ① 現在の職種に就く時重要であったこと (19項目)
・「1.非常に重要である」～「5.全く重要でない」と「6.わからない」の6つの選択肢から選択。
- ② 現在の職業に就く時のきっかけ (複数回答可)
- ③ 現在の職業について続けていくか
「一時的なものである」場合はその内容 (複数回答可)
- ④ 建設業への就業の推薦度

3) 労働環境 (20項目)

- ① 実際に働いた建設現場の印象 (19項目)
・「1.非常にあてはまる」～「5.全くあてはまらない」と「6.わからない」の6つの選択肢から選択。
- ② 実際に働いた建設現場の印象と働く前の印象との変化

4) 労働災害防止活動 (20項目)

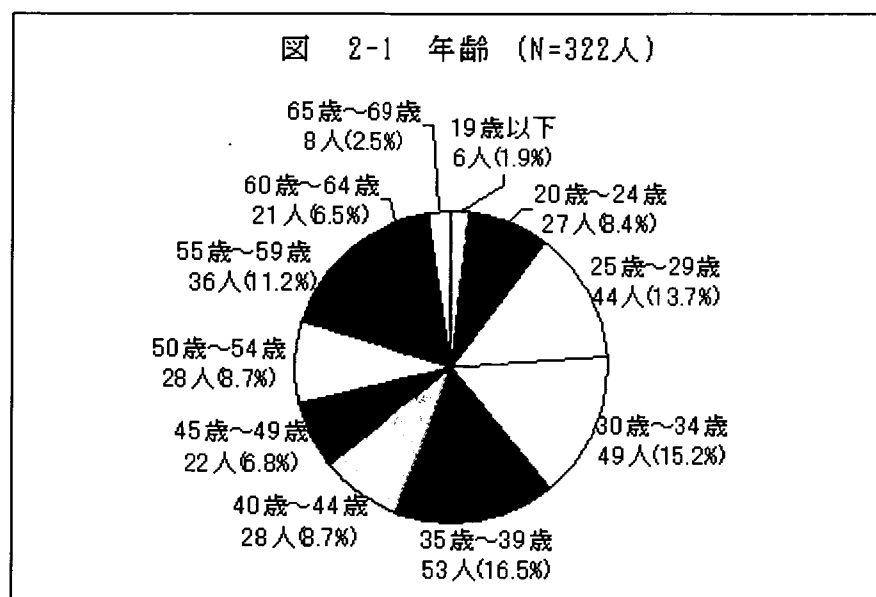
- ① 労働災害防止活動等 (16項目)
・「1.非常にあてはまる」～「5.全くあてはまらない」と「6.わからない」の6つの選択肢から選択。
- ② 他のものづくりの現場と比べたときの労働災害等 (4項目)
・「1.非常に多いと思う」～「5.非常に少ないと思う」と「6.わからない」の6つの選択肢から選択

2.2 アンケートの集計結果

2.2.1 プロフィール

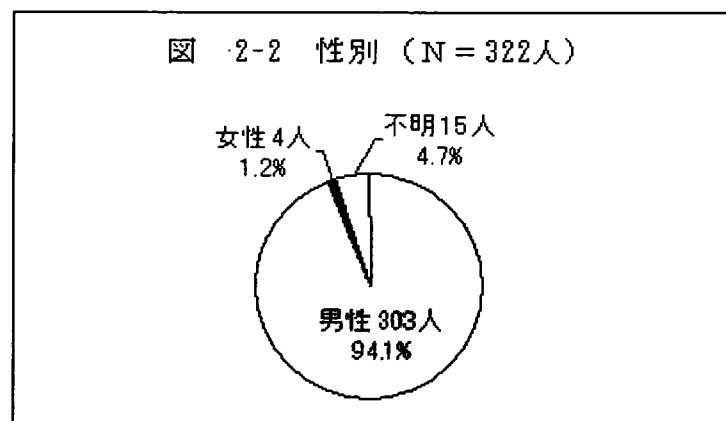
1) 年齢

アンケート対象の年齢は 35～39 歳が最も多く 53 人 (16.5%)、続いて 30～34 歳 49 人 (15.2%)、25～29 歳 44 人 (13.7%) となっており、若い作業者ののが比較的多い。(図 2-1) 又、50 歳以上のベテランスタッフは 93 人 (28.9%) となっている。



2) 性別

性別は、男性が 303 人と全体の 94.1% を占めており、ほとんどが男性作業員となっていた。(図 2-2) これに対して女性作業員は 4 人 (1.2%) であった。

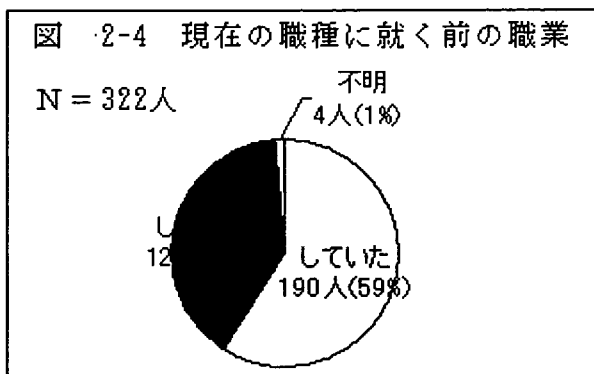
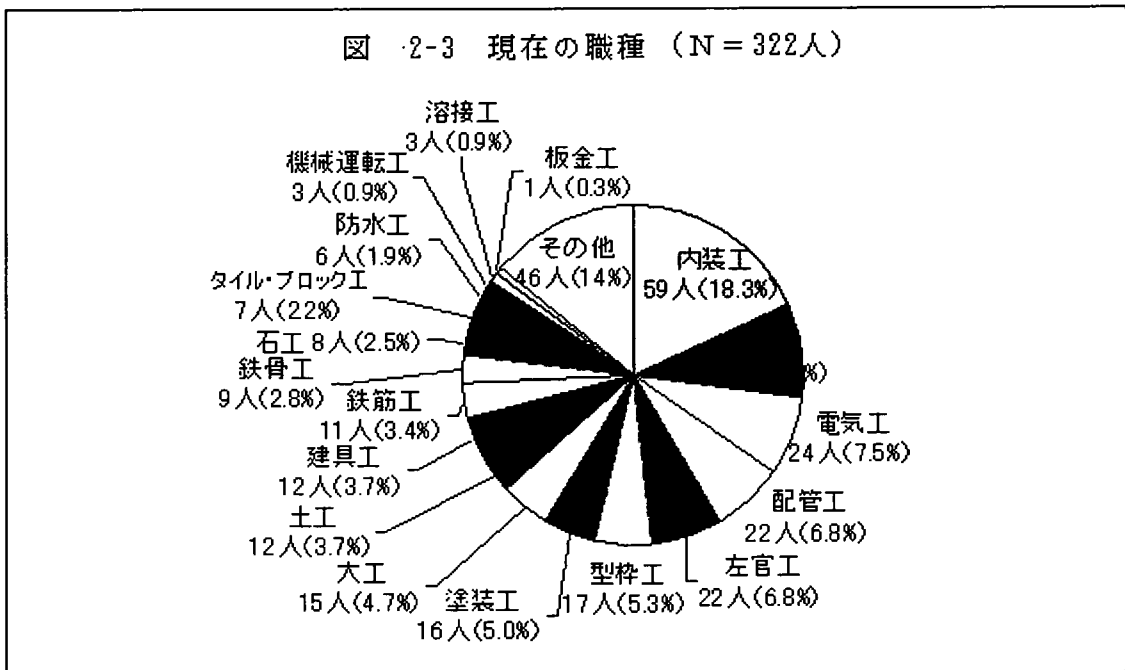


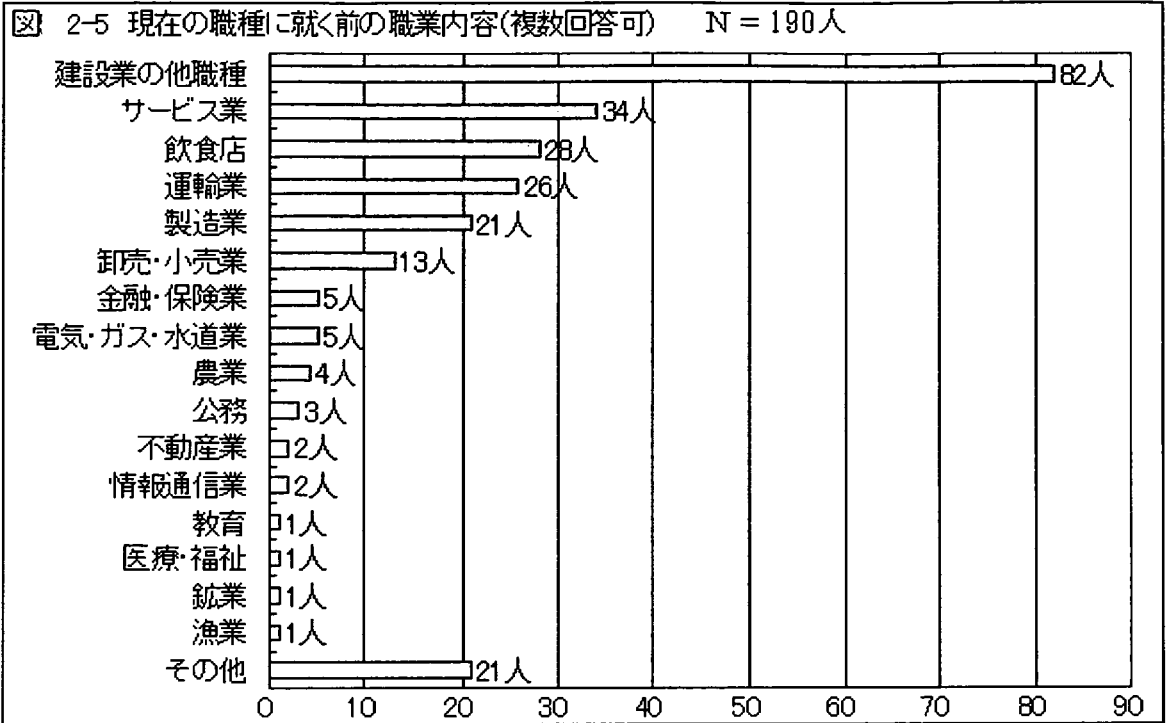
3) 現在の職種

今回アンケート調査票の配布方法は所長もしくは副所長に依頼し、そのとき現場にいる作業者に配布するというものであった。これにより随時現場にいることが多い職種、もしくは現場にいる人数が多い職種が集まりやすくなった。これに対して現場にいる期間が非常に短い職種、又、現場にいる人数が少ない職種について集まりにくくなった。

今回の調査においては、内装工が 59 人と最も多く 18.3%、続いてとび工 29 人 (9.0%)、電気工 24 人 (6.8%)、配管工 22 人 (6.8%) となった。(図 2-3)

これに対して少ない職種としては、板金工が 1 人と最も少なく 0.3%、続いて溶接工 3 人 (0.9%)、機械運転工 3 人 (0.9%)、防水工 6 人 (1.9%)、機軸工 6 人 (1.9%) となった。





5) 建設業にたずさわっている年数

建設業に携わった年数としては、30年以上が最も多く56人(17.4%)、続いて5~10年未満54人(16.8%)、0~5年未満52人(16.1%)、10~15年未満52人(16.1%)となった。

